



四季の輝き

池田先生の手

色鮮やかに咲く蓮の花。夏のつぼみも、今かかと開花の時を待つ。2022年7月、池田大作先生が都内で撮影した。法華経では「地涌の菩薩」の姿を、「如蓮華在水（蓮華の水に在るが如し）」と譬えている。蓮華は泥水の中でも、清らかな花を凌ぎ咲かせる。因果俱

の妙法を持つ私たちもまた、悩みや苦難の多い濁世にあって、必ずや使命の花を咲かせていく。心機一転、一日一日を大切に、幸福の法輪を輝かせよう。（2024年9月1日付）



人生の価値創造へ「時」を逃すな

万物に「時」がある。善きにつけ悪きにつけ、誰人（だれ）も「時」のリズムから逃れることはできない。できるのは、今いかなる「時」かを自覚することである。

人生も、信心も、すべて限りある時間との壮絶な戦いである。

いかに立派そうに決意を語り、大言壮語しようが、瞬間、瞬間、時間をどう使い、何をしているかに、その人の生き方や真剣さが表れるものだ。

「如来」とは、「如々（ごとごと）として来る」ということ、瞬間瞬間の躍動の生命をも意味する。

一切が、瞬間で決まっていく。この瞬間瞬間を最高に充実させて、すべてをいい方向に、いい方向に向ける、活かし、前進していく力が信心である。

時間をつくらう、動こう、友に会おうと必死に努力することは、そのまま仏道修行です。

その一念が人間革命に繋がり、自身の境涯を変革していくからです。また、そうやってこじ開けた時間だからこそ、相手の労苦も分かり、一言の励まし、一軒の家庭指導が、相手の心を動かすのです。

本当に賢明な人は、どんな状況でも価値を創造する。いわんや仏法では「心は工なる画師の如し」と説く。「心」は名画家のごとく、一切を自在に描き出していく。したがって、人生そのものが、「心」の描く「名画」である。「心」が創り上げる芸術である。

※池田先生の言葉は順に、『池田大作全集』第74巻、小説『新・人間革命』第16巻「入魂」の章、『池田大作全集』第87巻、『わが「共戦の友」——各部の皆さんに贈る』、『池田大作全集』第87巻から抜粋。

環境クリエイターって、どんな人？



空境空間 クリエイター



カーボンニュートラル クリエイター



スペースライフ クリエイター



クリーンエア クリエイター



まちづくさくクリエイター

高砂熱学には、あたらしい空気を生み出す、さまざまな人がいます。人々のくらしをつつみ、つないでいく。その空気も、それをつくる人の姿もみえない。だけど、感じる事ができる。ほら、深呼吸をするたびに。空気で培った技術で、その枠組みをこえて。私たちは、人に、社会に、最適な空間を生みだしていきます。

環境革新で、地球の未来をきりひらく。

環境クリエイター®

高砂熱学